



File 3

【小・中学校養護教諭】

令和7年度採用 1年目
上都賀地区(日光市) 勤務

○ 養護教諭を目指したきっかけ、業務内容

自分の学生時代を思い返すと、ほっと安心できる場所は保健室でした。ありのままの自分を肯定してくれる養護教諭の先生の存在がとても心強く感じられ、保健室で過ごした安心感が学校生活を前向きに過ごす力につながっていたと思います。そんな中で、どんなことでも気軽に話せて、気持ちを受け止めてくれた先生に憧れを抱きました。

子供たちが毎日の学校生活を安心して過ごすことができるように、子供たちの力になりたいと思い、養護教諭を目指しました。



○ 印象深いエピソード



「先生、ちょっとおなかが痛いかも。」と言って来室する子供の中には、実は別の悩みを抱えていることもよくあります。体の状態を見るだけではなく、心の様子を常に意識しながら対応しています。日々の関わりの中で、子供との信頼関係の深まりを感じられることは、この仕事の大きな魅力です。

自分のちょっとした気づきや声かけで子供が前向きになったり、教室に戻れたりする瞬間を見ると、保健室が子供にとって安心できる場所になっていることを実感でき、とてもうれしくなります。

○ 職場の環境や研修体制

職員室はとてもあたたかい雰囲気、相談や情報共有がしやすい環境です。放課後には今日あった出来事を話すことが多く、子供の新たな一面を知る貴重な時間になっています。一人職で不安もありますが、近隣の学校の先生方が快く相談にのってくれて、どんな小さなことでも親身になって教えてくださいます。

研修では日々の疑問や悩みを共有する場もあり、安心して業務を行うことができます。他校の実践を学ぶ機会も多く、それらを参考にしながら、自校の子供たちに合った保健教育をより充実させていきたいと思っています。



○ 養護教諭を目指す方へのメッセージ

養護教諭は子供たちの心と体に寄り添い、先の将来を見据えて成長を支えるとても素敵な職業だと思います。子供たちはうれしいときも不安なときも、ふとした瞬間に保健室を訪れます。対応に悩み、反省することも多くあります。しかし、子供たちの成長を間近で感じられる喜びは大きな励みとなっています。

これから養護教諭を目指すみなさんも、子供を第一に思う気持ちを大切にしながら、充実した日々を過ごしてほしいと思います。



＼ 小・中学校養護教諭のとある1日 ／ (※勤務時間は参考例です。)

8:00	出勤	○朝は、昇降口の靴箱を確認して、児童の出欠状況を把握します。
8:05～ 8:15	昇降口での靴箱チェック(児童の出席状況の確認) 欠席連絡のシステムチェック	
8:15～ 8:40	水道やトイレの環境整備	
8:40～ 9:00	健康観察板の回収	○健康観察板を回収する時には、各学級担任に積極的に話かけ、児童の健康状態を確認します。
9:00～12:25	保健関係システムの確認、保健だよりや掲示物の作成 来室対応	
12:25～13:00	給食指導(マスク・手洗い状況の確認) 体調がすぐれない児童の観察・対応	○給食の時間は、午前中に保健室を利用した児童の様子を観察したり、マスクや手洗いの指導を行ったりしています。
13:00～13:40	昼休み・清掃	
13:45～15:30	来室対応、石けん等の補充、委員会活動や行事の準備 等	
15:35～16:30	保健日誌の整理、担任等との情報共有	
16:30	退勤	